

聞こえてくる英文を書き取ろう

1 この活動のねらい

この dictation(書き取り)活動は、聞こえてきた音声をそのまま文字に変換する活動で、正確に聞き取って、つづりを正確に書かせることをねらいとします。新出文法を含む英文で、生徒に知識として覚えさせて自己表現させる際に有効です。また、書かせる英文の単語数が5語以上になると、覚えることが難しいため、短期記憶を鍛える活動にもなります。

2 活動例

dictation 活動はシンプルですが、生徒の実態に合わせて様々に展開することができ、継続することで聞き取る力も育成されます。

教師が教科書本文を何度か繰り返して読み上げて書き取る活動

下の生徒作品例のように、聞き取った英文をライティングノートに書き写していきます。

教師が教科書本文を読み上げる回数を制限して書き取る活動

とやり方は同じでも、「1回しか言わないからね」という言葉掛けで、さらに生徒の集中力が高まります。

聞かせる英文の速さを変えて書き取る活動

CDの音声は教師の読むスピードより速いかもしれません。ALTに普通のスピードで読んでもらい、徐々にゆっくり読んでもらうことも効果的です。

いろいろな人の音聞き取る

いつも教師が読んでいるのであれば、ALTが読んだり、CDを聞かせたり、生徒に読ませる方法なども考えられます。

読み上げた一番最後の英文だけを書く活動

教師の指示例

「これから教科書42ページの本文を読みます。途中で止めますので、最後に読んだ一文をライティングノートに書きましょう。」

下の生徒作品例では、教科書本文を“Could you tell me ...?”から読み進め、“Change trains there.”で読むのを止めます。生徒は最後に聞こえてきた“Change trains there.”という英文をライティングノートに正確に書くこととなります。書かせたい英文は基本英文がよいでしょう。

3 生徒作品例

